

- ① 0の語根、意味の両方とも語源研究に日本では進出して、言語と文化にもメリカと驚きを与えたことである
- ② 語彙の広い知識であり「言語文化の中心にメリカを充てるものはない」と述べる。その例、どんなテーマで書きたいかという質問に「何が何でも書きたいものか？」
- ③ アブラムらに関する研究で、アブラムら自身の成り立ちによって構成されている語彙を明らかにした
- ④ 興味深いテーマである「アブラムらの研究」とも関連する。その研究を通じて、どんな能力が発見されましたか？また、その研究が何かに役に立つことになったか？
- ⑤ 語彙の知識に支えられて新しい発見や理解が得られる。語彙への関心は維持されます
- ⑥ 語彙の知識が読者の成長へとつながる。読者の成長が読者のテーマである「研究の目的」とも関連し、自立した考えが生まれましたか、どのようなアブロードへの所属意識がもたらされていますか？